

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

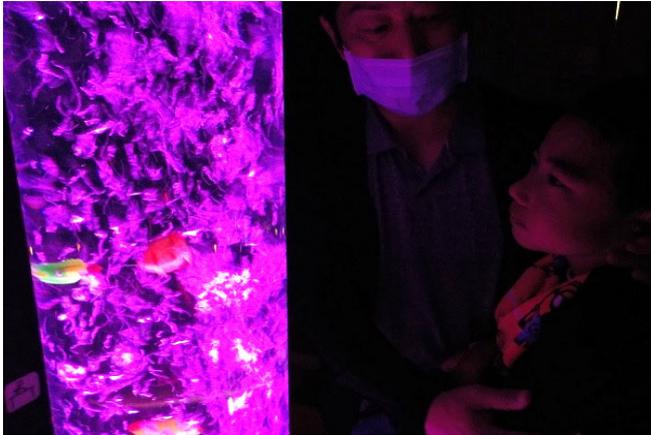
P T A名	静岡県立富士特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立富士特別支援学校
	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	385人

1. 使用状況

寄贈物品名	スヌーズレン用品
使用学年及び人数	小中高肢体不自由学級(45人)
使用頻度	週1回(小)週2回(高)学期に7回(中)
使用状況	<p>高等部が年間を通じて月、水の自立活動(グループ)の授業で通年使用しています。全員がじっくり関わられるようにABCの3グループに分け、学期ごと交替で使用しており、学習室に常設してあります。また、水曜日の午後には、小学部が使用しています。中学部は、ジュピターを教室に持ち込んで、他の光遊びの教材と組み合わせて使用しています。</p> <p>前述の高等部は、2学期(11月)に公開授業研究会を行いました。そこでアクアDX、ミルキーウェイ、ジュピター全てを使用した授業を公開したところ、助言者や他校の教員から、生徒が自分から教材に働きかけていく姿を大変高く評価していただきました。</p> <p>また、知的障害学級の生徒も、余暇活動として時々使用しています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>アクアDXは色の変化が大変美しく、自分から手を伸ばして触る様子が見られます。また、水音が心地よく、静かな環境で使用すると、児童生徒がうっとり、全身で味わっているのが分かります。</p> <p>ミルキーウェイは糸状の光の束になっているので、形を変えて提示することが可能で、児童生徒が自分で持って動かすことがよくあります。</p> <p>ジュピターは軽量なので、他教室で使用することも可能です。また、声や小さな振動で色を変えることのできるジャンピング機能を使うと、児童生徒が叩いたり、声を出したりして、その変化を楽しんでいます。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>現在12月ですが、冬季は光遊びを行う学部学年が非常に多いです。お互いに譲り合って、できるだけ沢山の児童生徒の『主体的に関わる姿』を引き出したいと考えています。特に高等部で集中的に使用しますが、近隣の生活介護事業所でもこれらのスヌーズレンを取り入れている施設が多く、卒業後の余暇活動として、期待が持てます。</p>
その他希望や所感など	<p>今回寄贈していただいたことで、手作り教材では引き出しきれない児童生徒のあらわれが見られ、教育活動が大変充実しました。PTA一同大変感謝しております。</p>

2. 活用の様子

• アクアデラックスに関わる様子



• ジュピターに関わる様子



• ミルキーウェイに関わる様子



• ジュピターに手を伸ばす様子

